

## WG 活動報告

### 19: GVHD 予防法と GVHD

#### ① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
大島 久美	聖路加国際病院	血液腫瘍科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
稲本 賢弘	Fred Hutchinson CRC	
東梅 友美	ミンガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
酒井 リカ	神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	輸血部・血液内科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
古川 達雄	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
田中 淳司	北海道大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科

福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
豊嶋 崇徳	北海道大学	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科

## ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

19-1	「シクロスポリンおよびタクロリムスによるGVHD予防法の比較検討」 PI:酒井リカ
<p>学会発表:Sakai R, et al. 38th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation (2012年4月1日～4月4日), Geneva.</p> <p>Sakai R, et al. 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)、国立京都国際会館、京都。</p> <p>論文業績:執筆中</p>	
19-2	「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI:加藤剛二
<p>学会発表:Kato K, et al. 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)国立京都国際会館、京都。</p> <p>Kato K, et al. 54th ASH Annual Meeting (2012年12月8日～12月11日), Georgia World Congress Center, Atlanta.</p> <p>論文業績:執筆中</p>	
19-3	「前処置別の急性 GVHD のリスク因子解析」 PI:仲宗根秀樹
<p>学会発表・論文業績:</p>	
19-5	「既存データを用いた年齢別の急性 GVHD 発症後の予後の検討」 PI:中根孝彦
<p>学会発表:Nakane T, et al. 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)、国立京都国際会館、京都。</p> <p>Nakane T, et al. 54th ASH Annual Meeting (2012年12月8日～12月11日), Georgia World Congress Center, Atlanta.</p> <p>論文業績:執筆中</p>	
19-6	「急性 GVHD に対するステロイド一次治療の成績」 PI:村田誠
<p>学会発表:村田誠 他 第34回日本造血細胞移植学会総会(平成24年2月24日～2月25日)、大阪国際会議場、大阪</p> <p>Murata M, et al. 54th ASH Annual Meeting (2012年12月8日～12月11日), Georgia World Congress Center, Atlanta.</p> <p>論文業績:投稿中</p>	
19-7	「GVHDとTMAの関連性の検討」 PI:吾郷浩厚
<p>学会発表:Ago H, et al. 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)、国立京都国際会館、京都。</p> <p>論文業績:</p>	

19-8	「既存データを用いた臓器別慢性 GVHD の発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI: 諫田淳也
学会発表: Kanda J, et al. 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)、国立京都国際会館、京都 論文業績: 執筆中	
19-9	「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI: 仲宗根秀樹
学会発表: 仲宗根秀樹 他 第34回日本造血細胞移植学会総会(平成24年2月24日~2月25日)、大阪国際会議場、大阪 論文業績: 投稿中	
19-10	「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシピエントの性別の影響」 PI: 大島久美
学会発表: Oshima K, et al. BMT Tandem meeting 2012 (2012年2月1日~2月5日)、Manchester Grand Hyatt, San Diego 論文業績:	
19-11	「再発リスク症例における GVHD 発症と GVL 効果の相関に関する研究」 PI: 東梅友美
学会発表・論文業績:	
19-17	「ガンマグロブリン予防投与の有無が GVHD 等の造血幹細胞移植成績に及ぼす影響: 後方視的解析」 PI: 高松博幸
学会発表・論文業績:	
19-18	「同種造血細胞移植後の急性 GVHD 発症時期が移植予後に与える影響についての検討」 PI: 内田直之
学会発表・論文業績:	
19-19	「小児急性骨髄性白血病同種移植症例におけるシクロスポリン持続点滴法と分割静注法の有効性と安全性の比較検討」 PI: 梅田雄嗣
学会発表・論文業績:	

### ③ 会議開催記録(2012年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2012/1/9	東京医科歯科大学	それぞれの課題の進捗状況の報告、二次調査を必要とする研究の進め方、複数の課題を提案する際のルールなどについて討議した。

### ④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012年11月末時点)

(509)回

### ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

同種造血幹細胞移植における GVHD の制御は移植の成否の鍵であり、当 WG に対する期待と責務は大変大きいものがあると考えています。WG 発足当初よりメンバー間で活発な議論がなされ、それぞれの研究課題が学会発表そして論文投稿へと進みつつあります。また今年度新たに加わったメンバーにより、早速いくつかの新しい研究が始まりました。これらの作業を通じ、GVHD に関連する TRUMP データシートについて改変すべき点も明らかになってくるものと思われます。今後、より一層の成果を発信すべくメンバー一同鋭意努力するところであり、引き続き、新メンバーの加入を歓迎いたします。